



二本松市立小浜小学校 学校だより

希望のひろば

令和元年12月2日(月)

第31号

小浜っ子・浜中生の ちょっと先の未来のために



11月8日に、「小浜幼保・小・中連携協議会」を行いました。少しかたいネーミングですが、当日は、子ども達の普段の学習の様子を、地域の方々、保護者の皆さま、幼稚園や保育所の先生方、中学校の先生方に参観いただき、そのあと、小グループに分かれて、意見を交換しました。当日は授業参観のみの保護者も方々も含めて39人の方々に本校にお越しいただきました。

小グループでの話し合いでは、県立高校入試制度改革や少しでも未来の日本の姿なども踏まえて、子ども達に、今身に付けさせたい力やそのために私たちができることなどについて、お茶を飲みながら一緒に考えました。出された主な意見などは、次のとおりです。

家庭だけ、学校だけでは、子どもたちに十分な力をつけてあげることはできません。小さいときから、小学校、中学校と継続して、家庭、地域、学校が協力して取り組んでいきましょう。

〔協議の協議の内容から〕

○ 基礎的基本的知識と学習内容の理解を

学校でも授業の充実などに努力していきます。家庭学習や読書の習慣化などご協力をお願いします。

○ コミュニケーションをとる力を

まずは、自然な「あいさつ」からと考えています。家庭や地域でもよろしくをお願いします。

様々な体験活動などを通して、人と関わる機会を作っていきます。

○ 自分で考え、行動する力を

授業や諸活動で、自分で決める機会を増やしていきます。家庭でもよろしくをお願いします。

○ 地域と関わる心を

地域を学び、地域の人と関わる機会を設定していきます。子ども達をよろしくをお願いします。

(裏面へ)

小学校に入るまでにできてほしいこと

11月28日に、二本松市教育委員会主催の研修会で、福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センターの横山浩之先生から、「小学校に入るまでにできてほしいこと」として、次のような資料をいただきました。

1. 早寝・早起き・朝ごはん

- 早寝 …… 小学校低学年なら9時前（高学年でも9時半）
- 早起き …… 起こさなくても、機嫌よく定時に起きてくる
- 朝ごはん …… 「おなかすいた」と起きてくる

2. しつけの3原則

- 返事
- あいさつ（ありがとう、ごめんなさいも含む）
- 靴をそろえてぬぐ（整理整頓の第一歩）

「言われなくてもできる」まで
教えましょう。

3. お手伝い

- 自分から進んで、お手伝いができる
 - 自分のことは、自分でやる習慣がついている
 - 家族の中で、自分の役割分担がわかる
- ※ お手伝いは1歳半からやり始められる「言ってもやらないのは危険信号」

4. メディアとのつきあい方

- 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は害悪
- 授乳中、食事時のテレビ・ビデオ視聴は禁止
- すべてのメディアへ接触する総時間を制限 ゲームは1日30分まで
- 子どもの部屋には、テレビ、ビデオ、パーソナルコンピュータを置かない
- 自然に親しむ、土に触れる遊びを親子で楽しみましょう

5. 学習が進むために

- 正しいおはしの持ち方を教えましょう
- 毎日、子どもの勉強をみてあげましょう
- 学年×20分（入学前は1日10分）
- ひらがなの読み：5歳0か月で90%の子どもができる
- ひらがなの書き：6歳0か月で90%以上の子どもができる

※ いただいた資料を、ほぼそのまま書き写しました。

ドキッとさせる内容もありますが、小学校入学前にこのような習慣が身に付いていると、入学後も、子どもの力がどんどん伸びていくと感じるものばかりです。

今からでも遅くはありません。小浜っ子・浜中生の未来のために、私たち大人が手本になりながら、少しずつ子ども達に力を付けていきましょう。

